

PCSAアクションレポート（理事会）

1/4

平成27年5月版

5月通常理事会	
開催日時	平成27年5月22日（金） 午前11時から午後12時30分
開催場所	ホテルニューオータニ 「ラピス」16階
出席者	金本 朝樹代表理事・佐藤 公平副代表理事・加藤 英則副代表理事
	齊藤 周平副代表理事・大石 明德理事・城山 朝春理事代理
	小中富 均理事・石川 直史理事・金光 淳用理事・荒俣 伸一理事
	中島 基之専務理事（11名）
	川辺 悦史監事・宮村 伸輔監事
	森 治彦法律問題研究部会リーダー
	牛島 憲明アドバイザー、藤田 宏アドバイザー
討議事項	第1号審議議案 「新入賛助会員 入会」 審議【承認】
	当件について事務局より説明があった。賛助会員申し込みがあった企業は下記の通り。
	<新入賛助会員>
	企業名 : 株式会社 山宝商会（さんぼうしょうかい）
	代表者 : 山崎 仁久（やまざき きみひさ）様
	所在地 : 埼玉県越谷市流通団地3-1-14
	設立 : 1971年2月24日
	資本金 : 2,800万円
	従業員数 : 35名
	売上 : 1,400億円
	事業内容 : ・遊技施設に対する景品提供並びに雑貨卸業
	・文房具及び書籍の販売業
	・たばこの小売販売業
	・不動産の売買、仲介、賃貸及び管理業
	入会動機 : 事業拡大並びにPCSA会員の方々と交流を深め、研究部会において、
	チェーンストア経営を学びたい
業界団体 : 一般社団法人日本遊技産業経営者同友会（入会2014年4月）	
第2号審議議案 「PCSAよりの報道関係者へのお願い（案）」 審議【承認】	
件について事務局より説明があった。前回の理事会では捺印をもらう案を出して	
いたが、報道関係者へのお願い文として改めて案を作成した。	

第3号審議議案 「ペーパーレス会議（案）」審議【第5案 承認】

当件について事務局より説明があった。これまでの経緯と対応案をまとめた。

2011年10月より理事会、研究部会でペーパーレス会議を導入。導入前の7か月と

導入後の5か月では、コピー代および用紙代で月平均3万7786円の削減となった。

iPad購入費用が104万1600円(25台)なので約2.3年で償却となる。

一方、理事会において、iPadとプロジェクターを併用してペーパーレス会議を実施して

いたが、プロジェクターの書類は見にくいいため、現状は紙を配布しての会議と

なっており、再検討を求める声が出ていた。

なお、1年間の理事会12回のコピー代はおおよそ8万8819円。(拡大理事会のコピー+

用紙代は1回当たり9252円程度。(資料40枚×参加者50名×コピー&用紙単価4.626円)。

通常理事会のコピー+用紙代は1回当たり3701円程度。(資料40枚×参加者20名×コピー&

用紙単価4.626円)。拡大理事会年8回、通常理事会年4回。)

案	内容	費用	償却年数	コメント
第1案	タブレット 25台買い増し	¥719,500 (@¥28,780)	8.1年	見やすいものの償却が長い
第2案	プロジェクター 会議室後部に増設	¥405,467	4.6年	タブレットよりは安価だが、視認性の改善がどこまで図れるか十分な検証が必要。
第3案	参加者タブレット持参	持参者にタブレット代の負担有	—	常時持参している人が20人~25名いれば即対応可能。それ以下であれば参加される方にタブレット代の負担をお願いする事になる。
第4案	事前に資料配信 タブレットもしくは紙で参加者が持参する	参加者にタブレット代もしくはコピー代の負担有	—	資料作成は前日夜までかかることもあるため、事前資料発信がギリギリ(前日正午目安)になり運用に不安あり。
第5案	コピー利用	¥88,819/1年	—	コピーを利用する。理事会は重要な会議であり、審議を尽くすためにも紙で資料を配布したい。Ipadは今でも4研究部会で活用されており、前述の通り、2.3年で償却は済んでいる。

討議事項

第4号報告議案「警察庁よりの要請・遊技機の不正改造の絶無に向けた更なる取組」報告

当件について事務局より説明があった。5月18日の説明会について下記の通り

報告があった。

日 時:平成27年5月18日 午後2時~2時30分

場 所:全日遊連会議室

参加者:警察庁生活安全局保安課 大門課長補佐、他1名

ホール5団体 代表者、役員、事務局

※PCSA 森治彦法律問題研究部会リーダー、中島専務理事、片山

内 容:遊技機の不正改造絶無に向けた更なる取組について(要請)の説明会

1. 悪質な不正改造事案に歯止めがかからないことから、警察庁より

遊技産業健全化推進機構(機構)に、立ち入り検査の際に「遊技くぎ」の調査実施を要請。

2. 機構より「一般入賞口」「中央入賞口」を重点的に確認できるよう

遊技機性能調査を実施すると警察庁に回答。

3. 本年6月から実施する。ただし、自浄作用を促すのが目的であるため半年程度は警察への通報は原則行わないこととする。

4. 実際の実施要項は機構が作成。近々に機構から各団体に連絡が来る予定。

討議事項	第5号報告議案 「第13期決算 監査報告」報告 当件について事務局より説明があった。監査報告を受けたという事で報告させていただく。 貸借対照表、損益計算書は前回と変わらない。当期純利益が-83万7302円で確定。
	第6号報告議案 「第14期定時社員総会・公開経営勉強会・ニラク株式公開懇親祝賀会」報告 当件について事務局より説明があった。本日午後1時から開催される。 第14期定時社員総会、新役員の解散があるので、第1回通常部会を開催する。 大門課長補佐の講話。学生懸賞アイデア・エッセイ表彰式を実施。 午後3時半からは第52回PCSA・PTB共催公開経営勉強会 株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングス「香港証券取引所上場セミナー」を開催。 谷口 晶貴氏の開会挨拶のあと、佐藤洋治氏の祝辞。その後、『基調挨拶』 谷口 久徳氏、『上場の経緯と総括』大石 明徳氏。 パネルディスカッションのテーマは「香港証券取引所株式公開までの道のり」。 コーディネーターが藤田 宏氏、パネラーが曾我 貴志氏、ウイリス ティン氏、 金川 創氏、鶴飼 千恵氏、大石 明徳氏。 午後6時半からは懇親祝賀会を実施。懇親祝賀会は『開宴挨拶』谷口 久徳氏、 『祝辞』 民主党 参議院議員 増子 輝彦先生、株式会社幸楽苑 代表取締役社長 新井田 傳氏。 『乾杯』Mr. Willis Ting。その後、『祝辞』一般社団法人日本遊技産業経営者同友会 副代表理事 金光 淳用氏、『来賓のPCSA政治分野アドバイザーお祝いのご挨拶』をいただく。 さらに、友人一同より『お祝いの記念品』贈呈、祝電披露。8時30分に 『御礼・閉宴の辞』を谷口 龍雄氏。《お開きドアにて御礼、お見送り》を谷口 久徳氏、 大石 明徳氏、諸田 英模氏、田中 基隆氏、佐藤 公平PTB代表理事、 金本 朝樹PCSA代表理事となっている。
	第7号報告議案 「民主党・新娯楽産業振興育成研究会」報告 当件について事務局より説明があった。 第1回民主党「新娯楽産業振興育成研究会」（娯楽研） 開催日時：平成27年5月12日（木）午後4時～5時 開催場所：参議員会館2階議員第2会議室 出席議員：① 古川 元久議員（衆議院） ② 羽田雄一郎議員（参議院） ③ 小見山幸治議員（参議院） ④ 増子 輝彦議員（参議院） ⑤ 鈴木 克昌議員（衆議院） ⑥ 小川 勝也議員（参議院） ⑦ 大野 元裕議員（参議院） ⑧ 安井美沙子議員（参議院）

討議事項	発言内容：
	・小見山議員よりこれまでの新娯楽研立ち上げまでの活動経緯説明
	・古川議員より旧娯楽研（石井一氏設立・古賀一成氏の活動）の説明
	・古川議員より本日「新娯楽研」を立ち上げる旨の発表
	・増子議員より「現行の換金システムの不透明性」を指摘
	「PCSAの新遊技法設立の方向性と他団体は現行法の下で肅々と営業を進める」旨の違いを指摘
	・PCSA（森氏）より「遊技業界の現状と課題」及び「遊技業に関する法律」案の概要を説明
	第8号報告議案 「業界団体活動」報告
	1. 同友会の新役員が決まった。代表理事に株式会社平成観光
	代表取締役社長の東野 昌一氏。PCSAのメンバーでは、副代表理事に
	平山 剛氏、金光 淳用氏。理事に清水 文徳氏、新理事に小中富 均氏。
	監事に笠井 英史氏となる。
	2. 一般社団法人遊技産業健全化推進機構、平成26年度の活動を報告。
その他	
1. 不正取引の対応（公正取引委員会に非公式に打診する件）【承認】	
2. ピデアという業界誌を出版しているトリプルAの代表者が脱税し、当誌は	
115号をもって休刊する。	
次回開催	『6月拡大理事会』
	平成27年6月26日（金） PCSA会議室